

平成29年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
88 山口市働く婦人の家	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
89 山口ふるさと伝承総合センター	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
90 山口勤労者総合福祉センター	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
91 山口市地域特産物販売促進センター	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
92 山口森林ふれあいセンター	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
93 山口ふれあい館	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
94 山口南総合センター	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14

事務事業評価報告書

施設名：山口市働く婦人の家

担当部 経済産業部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
働く女性、勤労家庭の主婦		山口市働く婦人の家の管理運営を行いました。 指定管理者：(一財)山口県婦人教育文化会館(H28～H32) 【内容】・各種講座の開催 ・相談業務 ・レクリエーションの場と機会の提供 ・施設維持管理 平成29年度は、屋根防水塗装を実施しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
働く女性、勤労家庭の主婦が「山口市働く婦人の家」を利用することで充実した生活を送り、安心して働くことができます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	市民の暮らしを支える地場産業が元気なまち	
	基本事業	働く環境の充実	
事業開始背景等		働く女性や勤労者家庭の主婦の福祉増進に寄与するため、昭和62年4月に開館しました。 平成17年度から指定管理者制度を導入し管理しています。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		夜間講座を多く開講したことや開館30周年記念事業を行ったことにより、受講者は増加しましたが、前年度に高校総体関連での利用が多かったことから利用者数は減少しました。また、相談件数については、健康相談が増加したことに伴い、相談件数も増加しました。 今後も、各種講座の充実や積極的な広報活動を行うことで、講座受講者及び施設利用者を増やしていくことができます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		働く婦人及び勤労者家庭の主婦を対象とした類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度の運用開始時には、コスト削減に重点をおいていましたが、平成27年度に五巡目の選定を終え、市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、大幅なコスト削減の余地はありません。
		<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>【改革概要・改革により期待される効果】 地域の女性の活動拠点施設として、山口県婦人教育文化会館との合築館である特性を活かしたサービスの提供や事業の実施を行うことで、利用者層の拡大や経費削減などの効果が期待されます。</p> <p>【施設管理運営に対する評価】 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適正に行われています。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市働く婦人の家

指定管理者: 一般財団法人山口県婦人教育文化会館

指定期間: 平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点合計	
			不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用者満足度	利用拡大	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
			標準	60	加算		60		
審査結果	指定管理者は、施設の設置目的や基本協定・年度協定に沿った事業実施、施設の管理運営に努められており、管理運営の適正性が確保されている。また、利用者ニーズを反映した幅広い内容の講座を開催し、夜間・土日の講座や体験講座の実施、人気講座の実施回数の増加等、利用者の増加を促進する取組がなされている。その他、湯田温泉まつりや清掃除等にも積極的に参加しており、地域づくり協議会に加入する等、地域や関係団体との連携による活性化に向けた取組も行われている。		年度評価			A			
総評	—		総合評価			—			

事務事業評価報告書

施設名：山口ふるさと伝承総合センター

担当部 経済産業部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民		山口ふるさと伝承総合センターの管理運営を行いました。 指定管理者：特定非営利活動法人山口まちづくりセンター (27年度指定)(H28～H30) 【内容】・伝統産業の伝承と後継者の育成 ・大内塗実演 ・特産品開発をめざす「西京ふるさと工房」運営 ・各種講座等の開催 ・貸館業務 ・施設維持管理	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
利用者、観光客が本市の伝統産業・地場産業を知ることができます。 伝統産業の後継者が育成されます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	地域に活力をもたらす産業創出のまち	
	基本事業	匠のまちの創出	
事業開始背景等	長寿社会対策の一環として、また、ふるさとの産業・文化の継承・観光・学習の施設として、平成3年5月に開館しました。 平成19年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		自主事業講座や施設展示等を通じて、伝統工芸を軸とした技術や伝統文化の伝承とともに、市民に対する生きがい作りの創出に貢献しました。OB会参加者が減少したことにより利用者は減少しましたが、施設稼働率は横ばいです。今後は、利用者にとって魅力のある各種講座を開催することにより、成果の向上する余地があります。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		周辺では類似の施設等はなく事業再編成は出来ません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度の運用開始時には、コストの削減に重点をおいていましたが、平成27年度に五巡目の選定を終え、現在では市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、大幅なコスト削減の余地はありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
[改革概要・改革により期待される効果] 大内文化特定地域における伝統産業・ものづくりの拠点施設として、伝統工芸を軸とした技術や伝統文化の伝承を行っていくとともに、利用者のニーズを反映した事業企画の実施により、利用者の増加が期待されます。 [施設管理運営に対する評価] 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適正に行われています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口ふるさと伝承総合センター

指定管理者: 特定非営利活動法人山口まちづくりセンター

指定期間: 平成28年度～平成30年度

評価項目			評価コメント	評価					評点合計		
				不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	日常の業務についてマニュアルを作成するなど、全職員が共通認識を持って施設の運営ができる体制が整えられている。修繕についても、安全確保や設備機能の確保のため、迅速な対応がされており、適正な施設管理運営が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目・頻度を遵守した形での清掃、保守点検がなされている。展示・体験中に事故が起こらないように、施設・備品の適正な維持管理が行われている。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	職員による作業の確認や完了報告書等の整備等、適正な監督が行われている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設サービスの提供のため、必要な人員数が確保されており、施設内の工房には経験等を有する人員が配置されている。また、地域の歴史に関する講習や接遇などの業務に必要な研修の受講により、職員の育成・指導が行われている。			☆			3	
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	町内会に加入し、地区の祭りへの参加やごみ収集所の提供など、積極的に自治会活動に参加している。また、ほたる祭りやアートふる山口への協力や、大内文化特定地域内の4施設の管理・運営団体に構成された「チームOIDEMASE」の一員として、イベントを共同開催するなど、関係団体との連携が図られているとともに、地域の交流人口の増加にも貢献している。				☆		4	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者からの苦情に迅速に対応できるように、責任者の設置や職員間の役割分担等の体制が適切に整えられている。また、それらを市へ連絡・報告し、指示を受けるための連携体制が整備されている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	労働法規等を遵守され、適正な勤務体制が整えられている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を十分理解し、設置目的に即した施設の利用促進に努めるとともに、HPなどで設置目的・利用条件を広く一般に周知し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	施設が管理する個人情報について、漏えい、紛失等の事故防止対策が適切に講じられており、目的外利用等は行われていない。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	展示・体験中に事故が起こらないように施設・備品の維持管理に努め、また、職員による施設内の見回りを随時行われており、事故防止に努めている。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	防犯については、警備会社へ警備を委託している。また、緊急連絡網を作成するなどして、危機管理体制を整えられている。あわせて、危機管理マニュアルを作成の上、職員等に周知徹底し、危機管理体制が整えられている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	HPへの掲載やパンフレットの配布の他、地域情報誌や広告等へ掲載するなど、施設目的の達成のために効果的な情報提供が行われている。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者アンケートや教室の参加者からの意見や要望を取り入れるなど、利用者の増加に向けた取組が行われている。			☆			3
自主事業			・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、幅広い年代を対象に利用者のニーズに即した新たな教室等を実施することにより、満足度の向上に貢献している。			☆			3	
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的に沿った受託事業が実施されており、回数や実施時期についても適切であった。今年度は利用者からの要望により、新たな教室が開催され、利用者ニーズに即した事業が実施されている。			☆			3	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートや教室等の参加者からの意見を聞き、サービス向上を図るなど、管理運営に反映されている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	ニーズの高い教室の回数を増加したり、初心者を対象とした教室を実施するなど、施設の利用増加に向けた積極的な取組が行われている。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	予算の範囲内で、適正かつ効率的な予算執行が行われている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が行われ、安定的な経営が行われている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、期限内に月報等の報告がされており、経理事務についても適正に処理されている。			☆			3	
				標準	60	加算	1	61			
審査結果	指定管理者は、施設の設置目的や基本協定、年度協定に基づき、これまでの経験を活かしながら、適切な施設管理運営に努められている。自主事業についても、伝統工芸を軸とした技術や伝統文化の伝承と共に、市民の生きがいづくりの創出、支援などの「創作活動」の役割に貢献する内容であると共に、利用者ニーズにも適した事業を積極的に実施されている。また、大内文化特定地域内の他団体や自治会と積極的に関わり、祭りへの参加や各種イベントの実施など、地域の活性化にも貢献されている。			年度評価			A				
総評	—			総合評価			—				

事務事業評価報告書

施設名: 山口勤労者総合福祉センター(サンフレッシュ山口)

担当部 経済産業部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市内の勤労者		山口市勤労者総合福祉センターの管理運営を行いました。 指定管理者: 株式会社 さんびる(H26~H30) 【内容】・各種講座等の開催 ・レクリエーションの場と機会の提供 ・施設維持管理	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
勤労者総合福祉センターの利用者が、健康でゆとりのある生活を送り、生きがいをもって働くことができます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	市民の暮らしを支える地場産業が元気なまち	
	基本事業	働く環境の充実	
事業開始背景等	雇用保険事業として、雇用能力開発機構が設置したもので、平成7年2月に開館し、平成15年12月に市へ譲渡されました。平成17年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		改修工事に伴う利用制限が終了したことにより施設利用者数は増加していますが、施設稼働率は横ばいです。 今後は、利用者にとって魅力のある各種講座を開催することにより、成果の向上する余地があります。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		類似の施設・事業はありますが、勤労者のための施設といった性格上、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度の運用開始時には、コストの削減に重点をおいていましたが、平成25年度に四巡目の選定を終え、現在では市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、コスト削減の余地はありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
【改革概要・改革により期待される効果】 施設の設置目的である勤労者の福祉の向上に寄与し、また意欲的な自主事業の実施により稼働率や利用者の増加が期待されます。 【施設管理者に対する評価】 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適正に行われているとともに、自主事業についても意欲的に実施されています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口勤労者総合福祉センター(サンフレッシュ山口)

指定管理者: 株式会社さんびる

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点合計		
			不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
			サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
			標準	57	加算			57		
審査結果	指定管理者は、施設の設置目的や基本協定、年度協定に基づき、施設の管理運営に努められており、管理運営の適正性が確保されている。利用者へのサービス提供についても、アンケートや利用者とのコミュニケーションにより、利用者ニーズに即した自主事業を実施されているとともに、積極的な情報提供を通じて利用拡大を図るなど、利用者のサービス向上への取り組みが有効に行なわれている。また、適正な人員体制の下、計画的に施設管理・事業運営を行うことに加えて、チャレンジデーへの参加やジャンソンコンサートの開催など、新たな施設利用者の開拓による収入増加の取組がなされており、安定的、効率的な経営がされている。その他、湯田温泉まつりやスリッパ卓球大会などの地域イベントにも協力しており、地域との連携による活性化に向けた取り組みがされている。			年度評価		A				
総評	—			総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口市地域特産物販売促進センター

担当部 経済産業部

担当課 農林政策課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 道の駅仁保の郷 利用者		【施設概要】道の駅仁保の郷 ・平成12年10月オープンです。朝市、直売所、飲食提供施設、特産物加工施設、情報発信コーナー等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 ・指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市・農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。 【事業の実績】 ・農産物販売額 85,402千円	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等		農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		平成27年度は、15周年イベントなどにより、利用者数等が一時的に増加していました。今後も積極的なイベントの開催、利用者の利便性の向上などの取り組みを着実にを行い、農村の交流人口の増加等を促進していきます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営を行っており、統合等は困難です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>運営業務や維持管理業務、安全対策等適正に処理されています。 一時的な増減はあるものの、地域の活動拠点として、成果をあげており、効果を維持・拡大しつつ、維持管理費等経費が最小限となるよう努めます。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市地域特産物販売促進センター

指定管理者: 有限会社仁保の郷

指定期間: 平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	平日と休日の利用者数の違いを考慮した体制をとることで効率的な人員配置がされており、また、研修等を通じて人材育成が行われている。			☆			3
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	機関紙を定期的に発行されているほか、地域の行事やまつりの開催に施設を利用し、地域の各種団体、圏域の道の駅等と協力し、頻繁にイベントを実施することで、地域や関係団体等との協働が積極的に図られている。また、地元中学生の職場体験の受け入れをするなど、地域社会づくりに貢献している。				☆		4
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	今年度は苦情はないが、迅速に対応できる体制がとられている。			☆			3
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法や労働安全衛生法などの労働関係法令は遵守されている。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	利用者の個人情報の取り扱いについては、受付事務・情報の保管とともに第三者の目に触れないよう、事務所内のみで適切に行われている。			☆		3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全確保のため、施設内外の整理・整頓が行われている。			☆		3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	機械警備を導入しており、適切な防犯対策が講じられた。また、事務室内に緊急連絡先を掲示し、必要な情報の整理がされている。			☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大 周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設の設定目的に沿った都市農村交流が積極的に行われている。また、情報案内用モニターを利用し、施設や周辺地域の情報を提供している。			☆		3	
	利用者満足度 サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の保守管理、イベントの開催等の取組がなされた。			☆		3	
	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	地域団体等と協力して、まつり、イベントを開催しており、利用者に地域の良さを伝えることに努めている。			☆		3	
経営状況	改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケートの実施により利用者の意見を聴き、サービス向上や利用促進を図っている。			☆		3	
	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	仁保の特産品を利用した企画商品の開発がされている。また、イベント時には販売の促進に努められている。			☆		3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	おおむね順調である。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	利用者数は年々増加しており、安定した経営が行われている。			☆		3
経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。外部の専門家による税務、経理等のチェックも行われている。			☆		3		
評点合計			標準		57	加算	1	58	
審査結果	山口市地域特産物販売促進センターの指定管理者である(有)仁保の郷は施設の管理・情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施している。 また、施設の設定目的に沿った事業を地域団体等と共同で行っており、地域振興に貢献している。		年度評価		A				
総評	—		総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口森林ふれあいセンター

担当部 経済産業部

担当課 農林政策課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者 市民		林業の振興及び発展を図るために設置した山口森林ふれあいセンター(以下「センター」という。)の維持管理を行うとともに、森林・林業に親しむための各種教室やイベントを実施しました。 センターの管理は、指定管理者が行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
林業従事者及び林業指導者に対する林業経営、林業技術についての研修の場として、施設を利用することができます。 森林の大切さを理解するとともに、森林の良さを生かした交流が進みます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	森林を守り、育て、生かしたまち	
	基本事業	森林資源を生かした魅力ある地域づくり	
事業開始背景等		林業の振興及び発展を図るとともに、各種教室やイベントを通じて、市民に森林・林業に広く親しんでもらうため、平成8年に設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		各種イベントを実施することで、少しずつ森林・林業への関心が高まりつつあります。こうしたイベントへの参加者のニーズをとらえて、新たなイベント等を企画することができ、より森林・林業への関心が高まることが期待できます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>センターの利用許可、利用料金の徴収・減免、施設及び付属設備の維持管理等、指定管理者が行う業務、また、経理事務は適正に管理されています。各種教室等の内容・周知方法を見直し、施設利用の促進を図ります。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口森林ふれあいセンター

指定管理者：山口中央森林組合

指定期間：平成26年度～平成30年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定、年度協定等に基づき、受付事務、利用許可、貸館等、適正な施設の運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	事業計画に基づき、施設内外の清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理が適正に行われている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	浄化槽の点検、消火施設の点検等が承認を受けた上で第三者に委託されているが、適正な検査が行われている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	受付事務、利用許可、施設の維持管理等に対応できる人員の配置、業務の分担が適正に行われている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の集会所として施設を利用させるなど、自治会活動等において協働が積極的に図られた。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	事故、苦情は特になかった。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働法規等を遵守されており、良質なサービスを提供するための労働環境も維持されている。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例に基づき、施設の設置目的、事業に沿った利用が図られている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	基本協定に基づき、個人情報の保護が適切に実施されている。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な点検等、適切な安全対策が実施されている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	消防計画に基づく訓練が定期的に行われている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	森林・林業に関するパネルやパンフレットの掲示等を行っており、施設の設置目的に沿った事業が展開されている。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	施設内の樹木に名板を設置するなど、利用者へのサービス向上が図られた。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	自主事業を実施し、利用者のニーズをとらえる取組がされている。			☆			3
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	受託事業は適切に実施されている。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	常に利用者の意見を聴取しており、その意見が施設の管理運営に反映されている。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料及び利用料金の範囲内で、適正な支出が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	維持管理経費等の削減に努め、安定的な経営が行われている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されている。			☆			3
評点合計				標準		57	加算		57	
審査結果	山口市と指定管理者山口中央森林組合との間で締結した基本協定書及び年度協定書に基づき、施設の適正かつ円滑な管理運営が実施されている。 イベント周知方法や自主事業の実施等による利用率を増加させる工夫が必要。			年度評価		A				
総評	—			総合評価		—				

事務事業評価報告書

施設名：山口ふれあい館

担当部 教育委員会事務局

担当課 社会教育課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・山口ふれあい館		指定管理者制度を導入し、経費削減を行いながら、施設の管理運営をし、サービスの向上に努めました。 ・指定管理者 平成27年度選定 株式会社さんびる ・指定管理期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設が適正に管理・維持されることで、市民が快適に利用できます。			
総合計画体系	政策	02 いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち	
	施策	05 生涯を通して学び、よりよく生きるひと	
	基本事業	03 社会教育施設の整備・充実	
事業開始背景等	山口・防府圏域の交流人口と人口定住を図るため、国土庁の田園都市構想モデル事業の採択を受け、昭和59年に設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		指定管理者としては2回目になることからこれまでのノウハウを生かした事業が行われました。平成26年10月から地元の団体が運営主体となった喫茶室を開設した相乗効果により利用者が増加すると考えます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		市内には他に温泉施設や陶芸施設がありますが、利用者が重複していないことから、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	
カラオケ機器を一新し、より一層のPRをすることで利用者の増加を図り、収入増が見込まれます。現状では、収入のほとんどが温泉利用者からです。源泉は冷泉のため、燃料費の高騰により収入があがらないまま経費のみが増加します。今後は、収入源の分散化(温泉利用者、スタジオ貸し出し等)を図る必要があります。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
引き続き、指定管理者による適切な施設の管理・維持を進めます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口ふれあい館

指定管理者: 株式会社 さんびる

指定期間: 平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。				☆		3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。					☆	4
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。				☆		3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。				☆		3
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。					☆	4
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。				☆		3
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。				☆		3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。				☆		3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。					☆	4
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。				☆		3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。				☆		3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆	4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆	4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆	4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。				☆	3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。				☆	4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆	4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。				☆	3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。				☆	3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。				☆	3
評点合計			標準		60	加算	8	68
審査結果	「ホテルまつり」への賛助や、運営協議会の設置等地域と連携した運営がされています。また、苦情に対するマニュアルの作成や研修制度の実施、ミーティングでの情報共有等、平等な施設利用においてサービスの向上に努めています。また、ポイントカードの取り組みやニーズに応じた自主事業の展開で安定した経営ができています。		年度評価			S		
総評	—		総合評価			—		

事務事業評価報告書

施設名：山口南総合センター

担当部 教育委員会

担当課 社会教育課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・山口南総合センター		指定管理者制度を導入し、経費削減を行いながら、施設の管理運営をし、サービスの向上に努めました。 ・指定管理者 (株)三宅商事 ・指定管理期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日(5カ年)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設が適正に管理運営されていることで、市民が快適に利用できます。			
総合計画体系	政策	02 いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち	
	施策	05 生涯を通して学び、よりよく生きるひと	
	基本事業	03 社会教育施設の整備・充実	
事業開始背景等		山口市南部地域における学習活動・レクリエーション活動等の拠点施設として、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクトの認定を受けたウイングエイティ事業の一つとして設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		指定管理としては2回目になることからこれまでのノウハウを生かした事業が行われました。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		市内には他にもホールや運動広場がありますが、それぞれの施設の利用者が重複しないため、再編成できません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
引き続き、指定管理者による適切な施設の管理・維持を進めます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口南総合センター

指定管理者: 株式会社 三宅商事

指定期間: 平成28年度～平成32年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。				☆		4
	地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。					☆	5
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情が発生した際は、説明し、理解を得るなど適切な対応をしており、随時、市への報告がされています。また、改善できるものについては、適宜対応しています。				☆	4
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	勤務シフト表を作成し、適正に実施されています。			☆		3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。				☆		4
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。				☆		4
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。				☆		4
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	「緊急対応マニュアル」を作成し、名田島地域交流センターと合同で消防訓練を実施するなど連携・協力体制が整っています。			☆		4
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆	4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆	4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	名田島田園マラソンにむけたマラソン完走講座やかけっこ教室などニーズに即した事業が行われ、好評を得ています。			☆	4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	特に、受託事業はありませんが、施設を有効に活用した事業が実施されています。			☆	3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケートや聞き取り調査による利用者からの要望を運営企画会議で取り上げ、反映されています。			☆	4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆	3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	自主事業収支計画について当初より大幅に額の相違がありますが、収支の結果は大きく相違していません。			☆	3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	全体決算額について、収入が支出を上回っており、安定的な経営が実施されています。			☆	3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	月ごとの減免報告等、適切にされています。			☆	3
評点合計			標準		60	加算	12	72
審査結果	マラソン完走講座やトレーニングルームの指導者の配置等、施設を活かし、ニーズにあった自主事業が展開され、また、アンケート結果を運営会議で取り上げるなど利用促進の取り組みがされています。また、必要な修繕の実施や運用改善の提案により、適正な施設運営がされています。		年度評価			S		
総評	—		総合評価			—		